

無人航空機でも
散布できます!



石原

殺菌剤

トリフミン® **水和剤**

かんしょの基腐病に、
待望の1剤!

つる割病に
適用拡大!



■適用病害と使用方法(抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフミンゾールを含む農薬の総使用回数
かんしょ	基腐病	2000～3000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (植付前の処理は1回以内、 植付後は2回以内)
		16倍	0.8～1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
	つる割病	500倍	—	植付前	1回	17時間 苗基部浸漬	
茶	炭疽病	1500～2000倍	200～400ℓ/10a	摘採14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	もち病	1000～1500倍					

※その他、オクラ、実えんどう、さやえんどう、にんじん、たまねぎ、ねぎ、らっきょう、しょうが、トマト、ピーマン、きゅうり、マンゴー、たばこ等に登録があります。


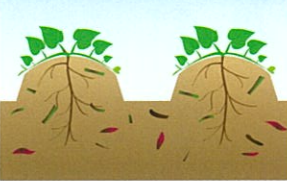
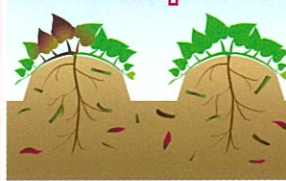


ISK 石原バイオサイエンス株式会社

®は日本書連(株)の登録商標

特長

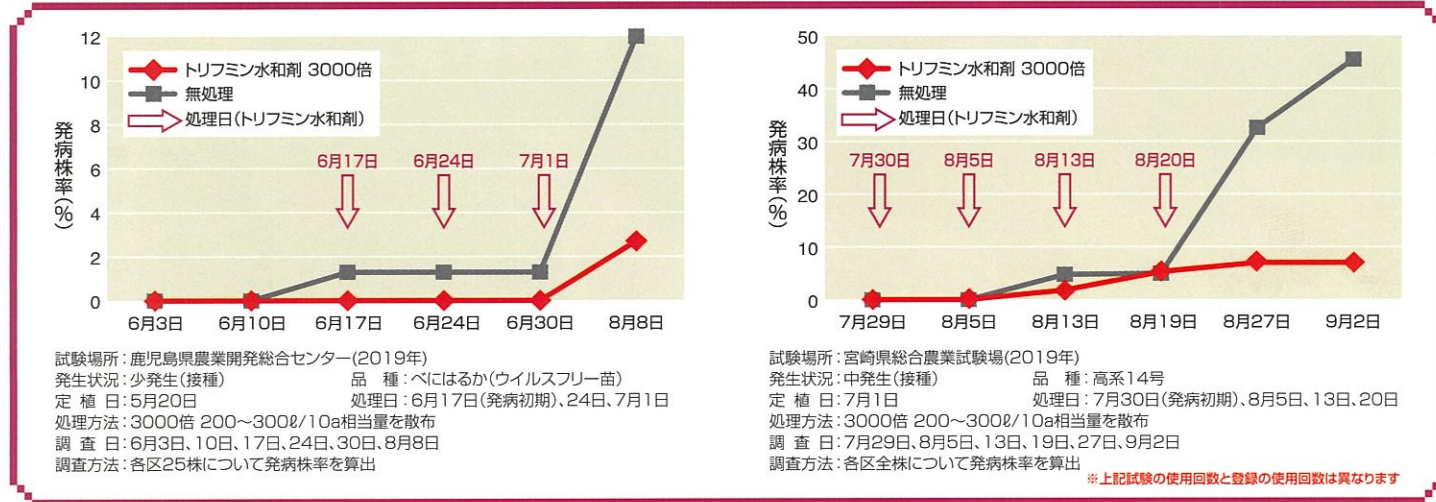
- 1 予防効果と治療効果に優れ、病斑の拡大阻止力や胞子形成阻止力があります。
- 2 浸透性に優れるので、散布後の降雨も効果にほとんど影響がありません。
- 3 幅広い殺菌スペクトラムを有し、多くの作物・病害に登録を有します。
- 4 ドローン等の無人航空機による散布が可能です。(飛散に注意)

使用例 (生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C)令和3年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生病態と防除対策」より参考)

<p>適正な苗消毒 必ず行ってください</p>  <p>植付前</p>	<p>発病株の除去と銅剤散布</p>  <p>定植2週目～</p>	<p>トリフミン水和剤 2000～3000倍 100～300ℓ/10a</p>  <p>定植5週目頃 (苗消毒効果が低下)</p>	<p>トリフミン水和剤 連続使用せず他系統薬剤とで交互に散布。 2000～3000倍 豪雨・台風などの前に予防散布。(予防散布が 100～300ℓ/10a できなかった場合は、降雨後速やかに散布)</p>  <p>定植6週～(茎葉が畝間を覆う) 強い雨の前</p>	 <p>台風の前</p>
トリフミン水和剤 など	発病株散見 苗消毒でとりこぼした株の発病	発病株の増加 前作の土壌残渣由来の発病が始まる	二次伝染による病気の拡大 病原菌の拡散	病勢進展 地上部の一部が枯死

●生育に応じて散布水量を適切に決めてください。●出来る限り発生前の予防散布に努めてください。●薬剤防除だけでなく総合的防除を心がけてください。

サツマイモ基腐病に対する圃場散布効果



△ 効果・薬害などの注意(抜粋)

- 本剤を無人航空機による散布で使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は散布機種に準じて実施してください。
 - ②散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④散布薬液の飛散によって自動車の塗装などに被害を与えるおそれがある等、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ⑤散布終了後は機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。また、使用後の空の袋は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意(抜粋)

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意し、万一眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮ふに付着しないように注意し、万一付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣を着用してください。作業後は顔、手足などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物への影響: 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等へ飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 保管: 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない、冷涼・乾燥した所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

この資料は2023年3月現在の登録に基づいて作成しています。

東京支店

TEL 03-6256-9190 FAX 03-3237-0571

ISK 石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
ホームページ アドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>

